

秋に入りだんだんと涼しい日が増えてきました。今年の夏は雨が少なく暑い日が続きましたが、今度は台風の季節がやってきます。

西日本や東日本では、8月から豪雨災害が発生しており、北海道でも近年、台風や温帯低気圧による大雨が多くなり、被害が発生することもしばしばです。

そこで今月は、**上ノ国町でも起きるかもしれない、豪雨災害の危険性や“もしも”に備えて**できることをお知らせします。

豪雨災害 対策

～いざという
時のために～



土砂災害

山の斜面や崖が崩れ落ちる『土砂崩れ』、川の上流の土砂が一気に押し流される『土石流』がある。

洪水

川の水位が上昇し、堤防を越えたり決壊するなどして堤防から水があふれだすこと。



浸水

道路や家屋に水があふれること。道路側溝等が雨水を排出しきれずあふれることで起きる。

豪雨災害
なにが起きる？
(写真…気象庁HPより)



天の川の水位計



大留地区の町道

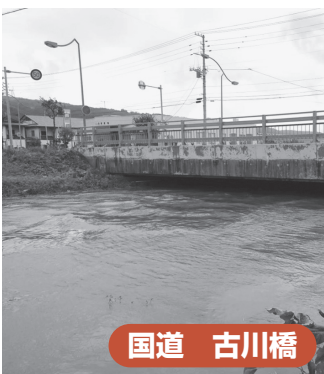


上ノ国地区の町道

平成29年9月に檜山地方に上陸した温帯低気圧による豪雨では、町内数カ所で支流や用水路等から水があふれ、床下浸水や道路の冠水といった被害が起きました。

また、天の川の水位は数時間にわたって氾濫危険水位を超える状況が続きました。

上ノ国町は、町内に多くの河川が流れており、山のすぐ近くに住宅がある場合も多いため、豪雨災害の際は市街地を巻き込む洪水や土砂崩れといった、甚大な被害が出る可能性があります。



国道 古川橋



天の川河口付近

大雨の危険は
上ノ国でも！

